

小笠原諸島世界自然遺産候補地科学委員会 外来種対策・自然再生部会の設置について

1. 目的

小笠原諸島世界自然遺産候補地の本推薦に向け、遺産価値を維持できる見通しを確保するために実施する外来種対策及び固有の自然生態系を保全、再生する取り組みについて、科学的見地から、事業結果に対する評価と、事業計画に対する助言を得るため、小笠原諸島世界自然遺産候補地科学委員会設置要綱第4条第5項に基づき、外来種対策・自然再生部会（以下「部会」とする。）を設置する。

2. 構成

本部会は、以下の者（部会員）をもって構成する。

- (1) 科学委員会委員のうち、検討テーマに特に関係の深い委員
- (2) 科学委員会委員以外で、検討テーマに特に関係の深い学識経験者（特別委員）
- (3) 検討テーマに特に関係の深い地元関係団体
- (4) 管理機関・事務局
関東地方環境事務所（事務局長）、関東森林管理局、東京都、小笠原村

注(3)の特に関係の深い地元関係団体については、小笠原村観光協会及び小笠原母島観光協会とする。

3. その他

- ・ 部会には、検討テーマに応じて、特別委員や地元関係団体を追加することができる。
- ・ 種毎の対策（他の分類群との関係性が薄いもの）については、部会内のワーキンググループに適宜助言を求めることで対応する。
- ・ 部会に属さない科学委員会委員も、本人の任意で部会合等に出席することができる。

関連機関の関係図

遺産地域管理機関と
地元関係団体との連絡調整の場

環境省
林野庁
東京都
小笠原村
(文化庁)

遺産地域管理機関

関係行政機関

設置・参加

意見・調整結果

小笠原諸島

世界自然遺産候補地

地域連絡会議

参画

- 小笠原村商工会
- 小笠原ホエールウォッチング協会
- 小笠原島漁業協同組合
- 小笠原母島漁業協同組合
- 東京島しょ農協
- 小笠原村観光協会
- 小笠原母島観光協会
- NPO 小笠原野生生物研究会
- NPO 小笠原自然文化研究所

設置・参加

助言

設置・助言依頼

小笠原諸島

世界自然遺産候補地

科学委員会

保護管理・調査研究・モニタリングに関する科学的見地からの検討・助言

連携協力

森林生態系保護地域
保全管理委員会

- < 科学委員会委員 >
- 海野 進 (静岡大学)
 - 大河内 勇 (森林総合研究所)
 - 奥富 清 (東京農工大学名誉教授)
 - 可知 直毅 (首都大学東京大学院)
 - 苅部 治紀 (神奈川県立博物館)
 - 川上 和人 (森林総合研究所)
 - 鹿野 久男 (国立公園協会)
 - 清水 善和 (駒澤大学)
 - 田中 信行 (森林総合研究所)
 - 千葉 聡 (東北大学大学院)
 - 堀越 和夫 (小笠原自然文化研究所)
 - 安井 隆弥 (小笠原野生生物研究会)
 - 吉田 正人 (江戸川大学 教授)

外来種対策・自然再生部会

種毎 W.G.

関係する専門家

小笠原エコツーリズム
協議会

個別の検討会
・連絡会議

関係の個別分野

参加